

縄文時代の青葉山

青葉山E遺跡の調査成果から



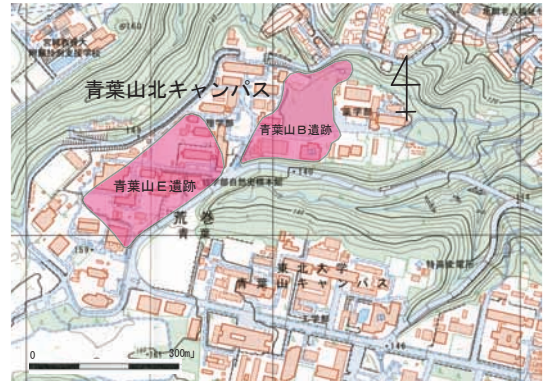
東北大学埋蔵文化財調査室

みなさんが、日々、実験・研究活動を行っている青葉山北キャンパス。実は、縄文時代の遺跡の上にあることをご存じでしたか？青葉山北キャンパスには、青葉山B遺跡と青葉山E遺跡の2つの縄文時代の遺跡があります。

そのため、新しく建物を建てる時、水道・ガス管などを改修する時、地表面を掘る工事をする前には、必ず発掘調査をして、遺跡の状態を記録保存しています。

現在も青葉山北キャンパスはすばらしい自然に囲まれ、緑豊かなキャンパスですが、縄文時代にも生活の場所として使われていた痕跡がいくつも見つかっています。

青葉山北キャンパスは、これまでに14地点におよぶ調査が行われました。その研究の結果、教科書には載っていない縄文時代の青葉山の様子がわかってきました。ここでは、その一部をご紹介します。

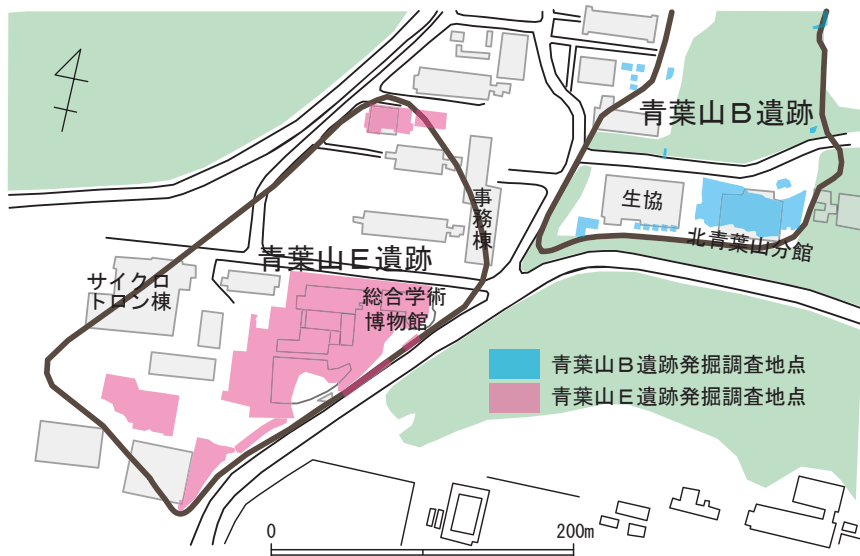


国土地理院発行1万分の1地形図『青葉山』平成19年修正を使用



青葉山E遺跡第10次調査の様子

2015年に、理学研究科合同研究棟の南側を発掘調査しました。地下鉄青葉山駅へ通じる駅前広場を整備するための発掘です。



発掘調査地点をよく見ると、現在、大学の施設が建っている場所と重なっていることがわかります。

青葉山B遺跡は、東北大学附属図書館北青葉山分館の建設や、北青葉山憩い公園の整備のために発掘調査をしています。

青葉山E遺跡は、自然史標本館、理学研究科合同研究棟などを建設するために発掘調査をしました。

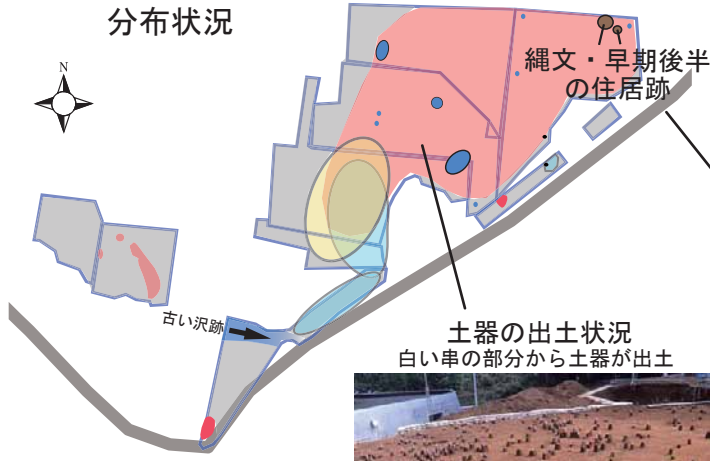


青葉山新キャンパス内には青葉山C遺跡という旧石器時代の遺跡があります。新キャンパス整備に先だって発掘調査をしています。

東北大学埋蔵文化財調査室ウェブサイトは
<http://web.tohoku.ac.jp/maibun/>
各調査地点の詳しい成果は、『東北大学埋蔵文化財調査年報』、『東北大学埋蔵文化財調査室調査報告』にまとめております。東北大学附属図書館で閲覧できます。東北大学機関リポジトリからダウンロードできます。
<http://ir.library.tohoku.ac.jp/re/>
また、全国遺跡報告総覧からダウンロードもできます
<http://sitereports.nabunken.go.jp/ja>

年代	時期区分
13,000 年前	草創期
10,000 年前	早期
	中期
6,000 年前	後期
	晩期
3,000 年前	弥生時代

青葉山E遺跡の土器の分布状況



- 縄文・早期中ごろの土器
- 縄文・早期後半ごろの土器
- 縄文・中期中ごろの土器
- 縄文・晩期の土器
- 弥生・後期の土器
- 平安時代・土師器

土器の出土状況
白い串の部分から土器が出土



竪穴住居跡（東から）



縄文・早期中ごろ



「ハの字」状の刺突文

貝殻でなでて表面を整えた痕

貝殻を押しつけた文様

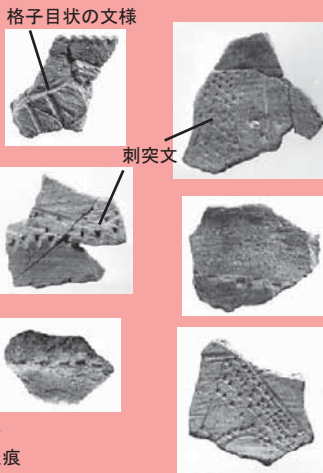
底部はとがっている
（尖底土器）

- ・土器の粘土に繊維は含まれない。
- ・宮城県内では他に出土例がほとんどない土器である。

縄文・早期後半ごろ

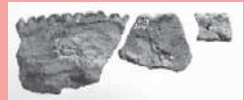


貝殻でなでて表面を整えた痕



格子目状の文様

刺突文



底部は平底

- ・竪穴住居痕が発見された。
- ・土器の粘土に繊維が含まれる
- ・宮城県内では他に出土例がほとんどない土器である。
- ・青葉山E遺跡内の比較的広い範囲から土器が出土している。

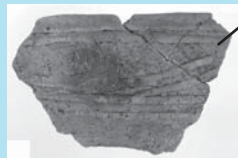
縄文・中期中ごろ



渦巻き状に粘土を加工し、立体的に装飾する

縄文を転がすその上に、線を引いたり、粘土紐を付けて文様を作る

青葉山E遺跡の土器は、小さな破片のことが多い



土偶も出土した。手と胸の表現がみられる。頭部と脚部は欠けていた。

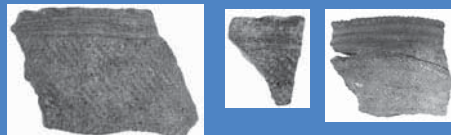


参考資料
仙台市高柳遺跡の土器

宮城県内でも出土例が増える時期で、仙台市高柳遺跡では同じ時期の土器が完全に近い形で出土している。

仙台市教育委員会 1995『高柳遺跡』
仙台市文化財調査報告書第165集より

縄文・晩期



主な文様が縄文だけの粗製土器と、複雑な文様のある精製土器がある。

弥生・後期



粘土紐で凸部を作り、互い違いになるように刺突をする装飾が特徴の土器。出土例が比較的に少ない土器である。

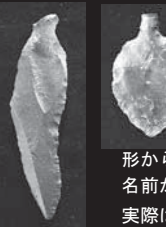
※土器・石器の縮尺は不問

青葉山E遺跡 縄文時代の石器



せきぞく石鏃

矢の先に固定して使う。いわゆる“ヤジリ”である。



いしさじ石匙

形から「さじ」という名前がついているが、実際は肉や皮を切ったり、木やつるを切ったり、万能ナイフのように使われていた。



いしべら石篋

動物の皮をなめすなど、削る・掻き取る作業に使われた。